

プロジェクト報告書

団体名 八王子精神障害者ピアサポートセンター

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ピア・カウンセリングによる精神障害当事者のエンパワメントと社会進出

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

応募申請書に記載のもので可。

自立支援法が施行されて以来、精神障害者が気軽に通所・相談できる場が減って来ました。特に多摩は作業所等が多く、深刻です。同時に各地で精神障害者からの相談が急増している声も聞こえます。2001年より講座を開催し、ピア・カウンセリングという言葉も浸透して来ましたが、参加者からのリーダー誕生は少ないです。各地で「当事者による相談事業」も行われていますが、相談員のエンパワメントをする為にピア・カウンセリングは必要ですし、過去に依頼も受けています。そこで、本事業によって多摩や全国でリーダーが育ちピア・カウンセリングが広まり、各地の活動の活性化を図り、精神障害者をエンパワメントし、社会進出を促す事を目的としています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

多摩地域や全国の当事者団体や、自立生活センターの精神障害当事者スタッフを講師として招き、当センターのピア・カウンセラーと共に「ピア・カウンセリングと相談事業についての講座」を開催します。相談事業については、大阪地区での取り組みが先駆的であるため、事前に訪問調査をして当センターでさらに情報収集した上で、調査先から講師を招聘し講座を開催しました。

①平成20年5月 大阪「ヒット」での相談事業について訪問調査／②平成20年8月 ピア・カウンセリングと相談事業についての講座／③平成20年12月 ピア・カウンセリングと相談事業についての講座

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

大阪HITを見学した事で、当事者スタッフの招聘の選考が、実際の活動に触れながら出来ました。また講座でHITの活動を語って頂いた後、ピア・カウンセリングを経験された方は、また話を聴きたいと言ったり、反響が大きかったです。講師が体調不良等の影響から予定通りに招聘出来ず、多摩地域の精神障害者以外の障害者講師を招いて講座を行うことができた。実際、講座に集まった参加者は障害種別を問わずに集まり、終了後は障害種別を超えた広がりやを収めました。実際に相談事業に活かす方法を分かりやすく説明するために、予定より参加者を増やし、ロールプレイを3パターン用意し参加者の前で行いました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

大阪のHITを先に見学したことは大きかったです。当センターと違うスタンスの団体を見学して、自身の活動・講座の視野を広いものにすることが出来たと思います。初めての試みで当初はどういった講座なのかといった問い合わせも多かったです。参加者の約2/3は実際に地域で相談事業に従事している方で、自立生活センターで行っているピア・カウンセリングを聞くのは初めてという人も多かったですが、ロールプレイを用いて実際の相談場面に適応した考慮をした結果、講座開始前と終了後では参加者の顔が見違える様になり、仲間で生き活きと生活していける確信が持てました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



【2008年5月大阪の訪問調査先にて】



【2008年12月9日ピア・カウンセリングと相談業務についての講座】